

新たな取り組み

持続可能な社会をめざして新たな技術に取り組んでいます

東芝プラントシステムの野菜工場



恒久的に需要が見込まれる「食」に着目、新規事業への参入！
農業 × エネルギーソリューションで農業を新たなステージへ！

天候不順の影響を受けない「閉鎖型人工光植物工場」を、当社がこれまで培ってきた技術やエネルギー関連技術を活用し、環境に負荷をかけない持続可能な事業にします。

POINT 1

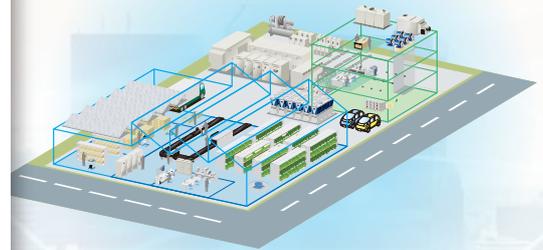
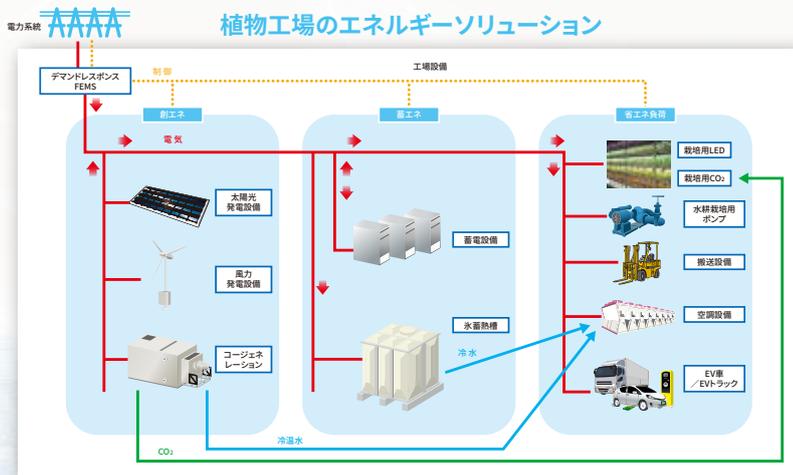
工場で消費する電力を、太陽光などの再エネやコジェネの自家発電により供給。

POINT 2

自家発・蓄エネ設備によりネガワット・ピークシフト・デマンドレスポンスに対応し、VPP(仮想発電所)のリソースとして活用。

POINT 3

発電機のトリジェネレーション(電気、温熱水、CO₂ガス)を植物の栽培に活用する高効率なエネルギー供給システムの導入。



株式会社ベジノバ

- 生産力：37,000株/日
- 拠点：埼玉県加須市
- 出資会社：東芝プラントシステム株式会社 株式会社ファームシップ
- 生産品目：フリルレタス、グリーンリーフ、オークレタス、ロメインレタス、レッドリーフ、ケール、ピノレッドなどを予定
- 出荷エリア：首都圏中心に全国
- 出荷開始日：2020年11月を予定

株式会社ベジノバの詳しい情報はこちら

